

タイムワナー倫理的ソーシング・ガイドライン

タイムワナーの倫理的ソーシングのためのガイドライン (“ガイドライン”)には、タイムワナー社およびその子会社と系列会社 (“タイムワナー”) が尊厳と倫理基準に基づくビジネスを行うよう確約することが反映されています。弊社の全てのベンダーは各地域の法規および業界基準に従って営業することが重要です。このガイドラインでは“ベンダー”は供給者、工場、ライセンサー、現場、施設、契約者、下請け等を意味するものとします。タイムワナーの主要子会社には、AOL LLC、Home Box Office, Inc.、Time Inc.、Turner Broadcasting System Inc.、Warner Bros. Entertainment Inc が含まれます。

三者国連傘下機構によって設定された国際労働機構 (ILO) 核心労働協定がこのガイドラインの実質的な基礎を成しています。

雇用

1. 差別禁止

タイムワナーはベンダーに対し、募集、雇用、トレーニング、および報酬、ベネフィット、先払い、懲戒、解雇、退職等の雇用慣例において、人種、皮膚の色、宗教、年齢、出身国、性別 (妊娠も含め)、性的志向、結婚状況、身体的または精神的障害、その他の法が保護する、業務能力に支障をきたさないカテゴリーに拠って差別しないことを期待します。

2. 児童労働

タイムワナーはベンダーが 15 (地元の法が許可すれば 14) 歳未満、あるいは製造する国の義務教育終了が 15 歳以上の場合はその年齢未満の人は雇用しないことを期待します。18 歳未満の従業員は、未成年者が健康や安全の障害を起こしやすい仕事をするべきではありません。全てのベンダーは適正な現場での見習いプログラムを確実に実行し、児童労働および見習いプログラムに関する全ての法規を遵守しなければなりません。子供の俳優を雇用する場合には、別途のガイドラインが適用されます。

3. 強制労働

タイムワナーはベンダーが従業員に対し、監禁、拘束、年季契約等の強制的な、あるいは不本意な労働を使用しないことを期待します。ベンダーは雇用の条件として、パスポート、身分証明書、労働許可書等の個人的な身分を放棄することを要求しません。

4. 強制および嫌がらせ

タイムワナーはベンダーが各従業員を尊厳を持って扱い、会社の懲罰、暴力的威嚇、その他の物理的、性的、口頭の嫌がらせ、あるいは虐待を行わないことを期待します。

5. 組合

タイムワナーはベンダーが地元の法規が許可する組合の自由を認め、いかなる場合にも従業員が重役と自由かつ直接に連絡を取ることのできる権利を尊重し、その時には威圧、嫌がらせ、懲戒しないことを期待します。

6. 就業時間と報酬

タイムワナーはベンダーが各国で義務付けられる給与と時間に関する法規あるいは業界基準を遵守することを期待します。さらに従業員は固定的に 1 週間に 60 時間以上の労働を行わず、従業員に対して 7 日に最低 1 日の休日を提供することを期待します。

7. 法令のソーシャル・セキュリティと福祉

タイムワナーは、ベンダーが雇用者および / または従業員が法規で要求される、医療保険、傷害保険、年金、住宅・失業基金等の全ての法令のソーシャル・セキュリティおよび福祉基金に寄与し、適用される法規に従い、全ての従業員に代わってかかる基金に寄与することを期待します。

8. 雇用記録

タイムワナーは、該当する法規によってベンダーが 1 年以下の保存を要求される情報と記録以外に、本ガイドラインを遵守する必要のある製造とオペレーションに従事する従業員に関する、雇用契約書、在住および労働許可 (必要に応じて)、年齢証明、妊娠休暇記録、職場での傷害記録、就業時間および給与記録等の、1 年間の完全かつ正確な記録と書類をベンダーが保存することを期待します。

健康・安全および環境

9. 健康と安全

タイムワナーは、ベンダーが従業員に対して、該当する法規を遵守して安全で健康な職場を提供し、最低限職業上の安全、機械のガード、救急準備、職場の衛生、移動可能な水と衛生施設の合理的供給、火災安全、十分な照明と通気を確実にすることを期待します。さらに製造元であるベンダーは、従業員に提供する住宅や売店においても同様の基準で健康と安全を確実にします。

10. 環境

タイムワナーは、ベンダーが該当する環境法規を遵守し、必要な環境許可証および登録を取得して適切に更新し、その後オペレーションおよび報告の義務を確実に行うことを期待します。

知的財産および倫理

11. 海賊行為禁止

Tim タイムワナーは、ベンダーが全ての知的財産権を尊重し、タイムワナーとのベンダー契約書の下に義務を遂行する上で必要なものを除き、あらゆる形態のフィルム、ビデオ、またはオーディオ / ビジュアルコンテンツを含むデジタル要素等をコピーしたり、第三者がアクセスすることを許可しないことを期待します。

12. ビジネス倫理

Timeタイムワナーは、ベンダーが有効な倫理を実行し、プログラムを遵守することを期待します。ポリシーに関するサンプルは、

www.timewarner.com/corp/corp_governance/governance_conduct.htmlでTime

Warner Inc. Corporate Standards of Business Conductを参照してください。

実行と遵守

本ガイドラインは、ベンダーがタイムワナーとのビジネス関係においてどのように行動するかに関する、タイムワナーの期待が強調されています。タイムワナーは、ガイドラインにおける基準は固定的な過程で達成されるものではなく、動的なものであることを認識するため、ベンダーが職場を継続的に向上することを薦めます。

タイムワナーは、ベンダーが本ガイドラインの内容と一貫する範囲の適切な管理システムを設定して維持し、管理過程とビジネス・オペレーションを有効に確認、監視、修正して、そのオペレーションが本ガイドラインの原則に沿ったものであるよう確実にすることを期待します。タイムワナーは、ベンダーが各自のサプライヤーおよび下請け業者と協力して、彼らも本ガイドラインの原則、あるいはそれに匹敵する原則を満足させるよう尽力することを期待します。

ベンダーとの関係を継続するかどうかは、契約的な義務の履行を加味して、全的にタイムワナーが判断するものです。タイムワナーは独自の判断で適切だとする場合、本ガイドラインに関して監視および遵守を助長する権利を保有します。かかる基準を満足

TIME WARNER ETHICAL SOURCING GUIDELINES – JAPANESE

できなかった場合には、将来的にタイムワナーとビジネスを行うことに支障をきたす可能性もあります。